


お花の栽培シリーズ「ネモフィラ」

2009年3月	弥生(やよい)・桜月(さくらづき)・花見月(はなみつき)・ 夢見月(ゆめみつき)・晩春(ばんしゅん)	●大地が本格的に活動しはじめる季節
日ごとに日ざしが強くなり、天気は周期的に変わりがちです。日本海側でも、雪の日は少なくなり、春の兆しが見え始めます。草花の待ちに待った春がやってきます。		
庭木の作業	・落葉樹・常緑樹の植え替え	
草花の作業	・1年草や宿根草は、地ごしらえをして中旬までには植付けを終わらせる。 ・夏咲き球根は、分球して植えつける。	

今月の誕生花	アイリス・スイートピー・スマレ・フリージア	
今月の花	シネラリア 花言葉 / いつも快活	
	赤い花、紫の花など種類はいろいろ。色とりどりの単色系、花びらのふちにだけ色があるもの、花びらに白い輪の入ったものまであります。特に白い輪が入るシネラリアは、まるで昔の人が雨の日にさした蛇の目傘のようです。 傘の回りには、やさしい春の雨がおどっています。その音を楽しみながら、雨の中を散歩する少女の姿から、『いつも快活』という花言葉が生まれたのでしょうか。	
	「シネラリア」という名は、ラテン語で「老人」という意味の「セネックス」からつけられました。花のあとにできる白い冠毛が、老人の頭に似ているからだといわれています。	
	品種名は、直訳すると「殺人などで血まみれになった」という意味で、ちょっと物騒な感じもしますが、これは、花の血のような赤い色をさしているといわれています。そこから、血の色のイメージが強くなったようです。	
	この花の原産地はカナリア諸島。1777年頃に、野生の鮮やかな紅紫色の一重咲きが発見されました。	
原産地はアフリカ北西・カナリー島。キク科サワギク属の越年草。草丈は20～40cm。開花時期は12～4月。最盛期は3月。花持ちは10日程度。葉の形状は、大型の心臓型。花色は紅、紫、濃紫、赤紫、白色など。英名はグラウンドセル・シネラリア(Groundsel, Cineraria)学名 Senecio × hybridus。別名フキザクラ、サイネリア、富貴菊(ふうきぎく)。		
名前が「死ね」を連想させるので、病院見舞いや新築祝いにはもって行かないほうが無難です。2月頃に花が終わった株を切り戻すと、3～4月にもう1度開花させることも可能です。		

お花の栽培シリーズ

今月の花

ネモフィラ

日当たり  日なた	水やり  乾燥きみ	気温  10～20℃	草丈  20～60cm	花色 
--	--	---	--	--



乾燥した冷涼な気候で咲く花です。植えつけには、水はけと日当たりのよい場所を選びます。砂質土が理想です。腐植質に富んだ土壌を好むので、植えつける前に、腐葉土や堆肥を混ぜ込んでおきます。鉢に植えつける場合は、赤玉土に腐葉土3割と川砂1割を混ぜた用土を用います。肥料はそれほど必要ではありません。肥料が多すぎると、茎や葉ばかり茂って花が埋もれてしまいますので注意しましょう。種から育てる場合は、秋に種まきをします。苗を越冬させますが、本来丈夫な性質をもつのであまり保護しすぎると徒長して弱い株になってしまいます。移植を嫌うので、霜の心配がない地域では、直まきします。発芽後、10～15cm間隔になるように間引きして育てます。日中は外気に当て、夜は凍らない程度に保温してやります。霜と強い寒風には当てないように注意します。

●種まきからの育て方



●植えつけのやり方



●ふやし方

ネモフィラは苗を移植しづらいために、庭やプランターに直接まいて間引きしながら育てます。間引きをしていって花壇の婆葉、苗と苗の間隔を最終的に20cmくらいになるようにしましょう。

間引きながら「間隔がやけに広いな」と思うくらいがベスト。春に一齐に広がります。花壇やプランターがほかの植物でつまっている場合は、ビニールポットに仮植して、ある程度大きくなった株を春に植え付けることもできます。

その際は、なるべく根を切らないように慎重に植え付けをおこないましょう。



ネモフィラの愛称は花びらの色から・・・

ネモフィラは、青い花びらが印象的。日本名は、「ユリカラクサ」。花の色が瑠璃色であること、選来した花であることからつけられています。一方英名は「ペーパーブルーアイズ」。澄んだ青い色の花びらが、赤ちゃんの瞳にたとえられています。

●年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況育	花期 											
置き場場所	屋外の日当たりのよい場所						屋外の日当たりのよい場所					
水やり	表土が乾いて1~2日たったら与える		※冬は乾燥気味にする		表土が乾いたら与える(1~2日1回)		表土が乾いたら与える(1~2日1回)		表土が乾いて1~2日たったら与える		表土が乾いて1~2日たったら与える	
肥料	※ 育ちが悪い場合は薄めの液肥を与えるが、肥料をやりすぎると葉が茂りすぎて、花が埋もれてしまうので注意											
吉病虫気												
作業	夜凍らない程度に保護する		冬越し 		植えつけ 		種まき 		冬越し 		夜凍らない程度に保護する	